学校紹介新聞

小美玉市立 堅倉小学校

◆校　長　大関　律子
◆児童数　240人
◆創　立　1873年
◆住　所　小美玉市堅倉1698の６

堅倉小イメージキャラクター「かたくらっこ」

児童主体の活動

昇降口（しょうこうぐち）に設置（せっち）されたミニ図書館を利用する児童たち

「読書マラソン」に挑戦

「あっ、この本おもしろそう」「早く借りたいな」。昼休みの学校図書館は、子どもたちの長い行列ができます。貸し出し・返却作業を行う図書委員は必死です。しかし、忙しさの中、うれしそうな表情を浮かべる図書委員たち。

昨年度は、東京オリンピック開催にちなんで「世界をめぐれチャレンジ」、期間中に何冊本を借りて読めるか挑戦する「読書マラソン」など、毎月「チャレンジ企画」を開催しました。その結果、99％の児童が年間50冊以上の本を読破しました。「今年は100％目指して、もっと楽しい学校図書館にするぞ」と、図書委員の児童はさらに張り切っています。

本を読むことは、知識を深め、読解力を向上させるだけでなく、心を育て、世界を広げることにもつながります。今後も学校図書館の活動を充実し「本が好き」という児童を増やしていきたいです。

（図書委員会担当教諭　鯉渕真理子）

こんな学校です！

あいさつ運動は運営委員会を中心に取り組んでいる活動の一つ

目標を立て委員会活動

堅倉小学校は、創立149年を迎える歴史ある小学校です。松組、竹組というクラス名を使っていることは、その伝統の一つです。

学校生活では、６年生から５年生に引き継がれる活動があります。その一つに委員会活動があります。ぼくが所属している運営委員会は、どんな学校生活を送ることが大切かを意識し、そのために目標を立て、企画や計画を考えて各委員会と協力しながら活動を進めます。「かたくらしぐさ名人」を学校中に広げることが大きな目標ですが、そのために、「あいさつ名人」「時間名人」「整とん名人」「思いやり名人」の四つの取り組みを柱に、さまざまな企画を各委員会に提案し、集会活動やポスター作成、放送での呼びかけなど各委員会と共に取り組んできました。

今年は、６年生として、堅倉小学校の伝統を守りつつ、日々進化していく気持ちを忘れず、がんばりたいと思います。

（６年　鈴木瑛太）

がんばっています！

よさこいソーランのダンスリーダーは青色のはっぴを着て踊ります

伝統の踊り「よさこい」

よさこいソーランは、毎年運動会で踊る堅倉小の伝統です。

ダンスリーダーになり、みんなと楽しく踊ることが私の目標です。ダンスリーダーになるのは簡単ではありません。基本の動きだけでなく、手や足の細かい動きを覚えなければいけません。踊る時には、見ている人に迫力が伝わるように体を大きく動かします。練習は、授業だけでなく、中休みや昼休みに自主的に行います。

昨年、ダンスリーダーに選ばれた時は、ちゃんと踊れるのか少しドキドキしましたが、本番はとても楽しくて、ダンスリーダーになってよかったと思いました。今年も、５月からよさこいソーランの練習が始まります。ダンスリーダーとなって、みんなの前で楽しく踊って、堅倉小の伝統が引き継がれるようがんばりたいと思います。（６年　磯邊莉子）

ICT・活用

主体的に学習取り組む

情報通信技術（ぎじゅつ）＝ＩＣＴ＝を活用した学習

１人１台タブレットが整備されてはや１年。子どもたちは、みるみるうちにタブレットの使い方を覚え、積極的に活用しています。授業では、アプリを使って自分の考えを積極的に表現し、友達の考えを聞き、「あっそうか」「いい考えだね」と活発な話し合いが続きます。タブレットを使える喜びが、そのまま学ぶ姿勢につながり、主体的に学習に取り組む姿が見られています。

オンライン配信機能を使った異学年交流も積極的に実施しています。自分たちの発表などを手軽に見せることができるよさもあり、オンライン配信を使ったイベントなどをやりたいとの提案もあがっています。

タブレットを有効活用しながら、子どもたちが自ら考え表現できる学習の場を設定することで、さまざまなことに挑戦していってほしいと思います。

（情報教育担当教諭　米川健太郎）

次回は５月18日　鹿嶋市立高松中学校です